

お礼とご報告

はじめまして。私は南米パラグアイにあるラ・コルメナという町で、日本語教師として活動しております、■■■■と申します。この度は、「世界の笑顔のために」プログラムを通して、私たちの学校に「漫画」を寄付していただき、誠にありがとうございます。

私の活動するラ・コルメナ市はパラグアイ初の日本人移住地で、今でも200~300人ほどの日系人が暮らしています。私の配属先は、その日系人の子どもたちが通う日本語学校で、生徒たちは日々日本語や、日本の文化、音楽や図工、移住の歴史などを勉強しています。しかし、パラグアイ国内では、私たちの学校の性質上どうしても必要となる日本語学習教材や、書籍、日本のおもちゃなどを手に入れるのが難しく、また、あったとしてもとても高価です。私たちにとって「世界の笑顔のために」プログラムのような制度があること、そして、支援をしてくださる方々がいらっしゃることは本当に有難く、学校関係者一同、感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の応募では、貴校のプロジェクトを含む13の提供者の方々から寄付をいただきました。日本から届いた大きな荷物を前に、子どもたちは大はしゃぎでした。いただいた物は、生徒たちに一つ一つ見せながら紹介し、様々な想いと共にパラグアイに届いたことを伝えました。そして、みんなで大切に使うという約束をしました。

今回「漫画」を希望させていただきましたが、本校に日本語書籍がないわけではありません。ただ、どれも漢字や言葉が難しく読める生徒は限られていました。日本語の本というだけで抵抗を感じる生徒も多いです。しかし、少しでも日本語に興味を持って、書籍を読んでもらいたいという想いから、漢字に振り仮名がついてあり、絵もあって読みやすい漫画を希望することにしました。皆様を通じて届いた「ドラえもん」は、パラグアイでもスペイン語でアニメが放映されるなどとても人気があり、生徒全員大喜びでした。普段なかなか本を読みたがらない生徒まで、興味を持って読んでいたのがとても印象的で、本当によかったなぁと感じました。

なお、今回のお礼状には、生徒からの手紙も同封しました。間違いがあったり、字の大きさがバラバラだったりと直すべきところは多々ありますが、彼らなりに一生懸命、心を込めて書いた手紙ですので、あえて書き直さずに送らせていただきます。何卒、ご容赦ください。また、別途CD-Rにいただいた物品を使っている様子と学校紹介の動画を入れました。よろしければ、そちらもご覧ください。

最後に、日本にルーツを持つ日系人の生徒たちが、皆様からいただいた物を通して日本語や日本文化を学び、将来日本とパラグアイをつなぐ架け橋となってくれることを願って、お礼とさせていただきます。本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

日系社会青年ボランティア31回生（平成27年度1次隊）

職種：日系日本語学校教師



《パラグアイ共和国の紹介》

パラグアイは、南米のほぼ中央に位置する、ブラジル・アルゼンチン・ボリビアに囲まれた内陸国です。面積は日本の約1.1倍、人口680万人ほどの国で、中央部を南北に流れるパラグアイ川によって、東西に二分されています。西部はグラン・チャコと呼ばれる平原でケブランチョ（タンニン原木）やキリ油の産地ですが、人口密度が1km²につき1人にも満たない人口希薄地で、未開の地も多く残っています。東部は人口の大半が集中するパラグアイ川沿いの低地と、その東方のパラナ高原からなります。

パラグアイ国民の約90%が、先住民のグアラニー族とスペイン人の混血のメスティソです。公用語はスペイン語とグアラニー語、国教はローマ・カトリック、主要産業は、農業と牛の放牧です。現在、大豆の輸出は世界第4位、牛肉の輸出は世界第6位です。また、日本に輸入される白ごまの約60%がパラグアイ産です。



☆☆豆腐1万丁計画☆☆

世界有数の大豆生産国のパラグアイ。2011年の東日本大震災時に、日系人が中心となって「豆腐1万丁」を含む物資、義援金が送られたことをご存知ですか？日本のほぼ真裏のパラグアイで暮らす日系人の方々が、遠く離れた祖国を想い、このような支援をしてくださったことは非常にありがたく、嬉しい事ですね。

パラグアイのお茶「マテ」☆☆

「マテ茶」という言葉を聞いたことがありますか？マテ茶は、別名パラグアイ茶とも言われておりパラグアイでよく飲まれています。正式にはジェルバという薬草に、お湯を注いだものをマテと言い、冷たい水を注いだものをテレレと言います。パラグアイには、家族や友人など親しい人とお茶を回し飲みする習慣があります。輪になってマテやテレレを飲みつつ、たわいない話をしてゆっくり過ごす時間は、パラグアイの人々の生活にかかせないもの1つとなっています。



《ラ・コルメナ市の紹介》

ラ・コルメナは、パラグアイの首都アスンシオンから約130 km離れたところに位置する、人口5000人ほどの町です。「コルメナ」はスペイン語で「はちの巣」を意味し、古来より養蜂業が盛んでした。最近では、フルーツの町としても有名で、毎年12月には「EXPO FRUTA」というフルーツ祭りが開催されています。

パラグアイには9つの日本人移住地があります。ラ・コルメナは、パラグアイで最初の日本人移住地であり、唯一の戦前移住地です。1936年に日本政府の政策により始まった移民は、1955年に満植となるまで計134家族、832名が入植しました。入植当時、ラ・コルメナの大部分は原生林が生い茂る何もない荒野でした。それを人の手で1本1本木を切り倒し、家や農地を作って開拓していきました。開拓が進んだ後も、第二次世界大戦時には、敵国とみなされパラグアイ政府から日本語学校の校舎や建物などを没収されたり、幅4 km、長さ35 kmにも及ぶバッタの大群襲来で農作物を食べ尽くされたりと、幾多の困難がありました。しかし、そんな大変な状況下でも移住者みんなが励ましあって、苦難を乗り越えてきました。移住者たちは、日系人としての誇りを大切に守りつつ、パラグアイ社会にもうまく溶け込んで、ラ・コルメナ市の発展に大きく貢献してきました。その功績は、パラグアイ社会の中でも大きく評価されています。

昨年9月、眞子内親王殿下がパラグアイをご訪問されたことは、日本でも報道されたことでしょうか。入植から80年経ち、1世も少なくなってきた今、移民当初のことや日本の事を知る人は少なくなっています。こういった変化の中で、日本語だけでなく、日本の文化や礼儀作法などをどのように継承していくかが、今後の大きな課題となっています。



これは、ラ・コルメナ市役所の旗です。パラグアイ・日本両国の国旗がデザインに入っています。

ラ・コルメナの市街地から見える山です。移住者たちはこの山を「コルメナ富士」と名付け、遠い祖国日本に想いを馳せていました。



《ラ・コルメナ日本語学校の紹介》

ラ・コルメナ日本語学校は、日系人子弟への日本語及び日本文化の継承が主目的で作られた学校です。原生林が生い茂る未開の地で、家もなく食べ物も十分でないような苦しい生活の中でも、教育には力を入れなければならないという移民1世の方々の強い思いがあって、入植1年目に作られました。昨年11月に創立80年を迎えた、伝統ある学校です。

現在は、小学部31名、幼稚園6名、計37名の生徒が通っています。午前中、パラグアイの公立学校に通い、午後から週3日だけ日本語学校に来ます。生徒構成は45%が純日系人、54%がダブル（ハーフ）などの混血、1%が非日系人です。両親、祖父母含め家族全員が日本語を話せる家庭でも、日本語だけで話すという家庭はほとんどありません。日本語学校以外では、全く日本語に触れないという生徒も増えてきています。しかし、生徒たちはみんな日本のことが大好きで、一生懸命日本語を勉強しています。

私たちの学校では日本の伝統文化や行事なども教えています。節分、ひなまつり、七夕などの行事では、豆まきをしたり、笹飾りを作ったりと日本ならではの文化や習慣を知り、体験できるような活動を行っています。また、時間があるときには折り紙や書道、歌、伝承遊び、料理教室なども授業に取り入れ、日本の文化に触れられるような時間を作っています。8月にある運動会では、毎年よさこいなどの踊りを披露します。今年は、高学年がソーラン節、低学年が花笠音頭に挑戦します！

移住から80周年経ち日本語離れが進む今、日本の皆様からの支援は私たちにとって改めて日本との繋がりを感じられるものです。皆様からのお力添えを励みにして、これからも日本語や日本文化の継承に邁進していきたいと思っております。ありがとうございました。



平成 29 年 4 月 20 日

神奈川大学
産学連携事業「本の架け橋プロジェクト」
関係者各位

ラ・コルメナ日本語学校

校長



拝啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたびは JICA の「世界の笑顔のために」プログラムを通して、本校に漫画 30 冊を寄付していただき、誠にありがとうございます。本校では、パラグアイに移民してきた日系人の子弟たちが、日本語や日本の文化を学んでいます。日系人といっても 3 世、4 世ばかりなので皆母語はスペイン語です。日本語学校以外では、日本語を全く使わないという生徒も多いです。そのため、本校が所有している一般書籍では漢字や言葉が難しく、子どもたちが本を読むという機会が少なくなっていました。しかし、漫画なら言葉も比較的簡単な上、絵があるので子どもたちにもわかりやすいのではないかと思い、今回応募させていただきました。いただいた漫画は、学校の図書室で大事に保管し、いつまでも大切に使用させていただきます。

末筆ながら、皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。

敬具

神奈川県立大学

産学連携事業

「本の架け橋プロジェクト」のみなさま。

こんにちは、パラグアイは今年では僕はアニメ、
が大好きです。その中でも、ドラえもんが大好きです。
マンガも読むのがたのしみです。

ありがとうございます！



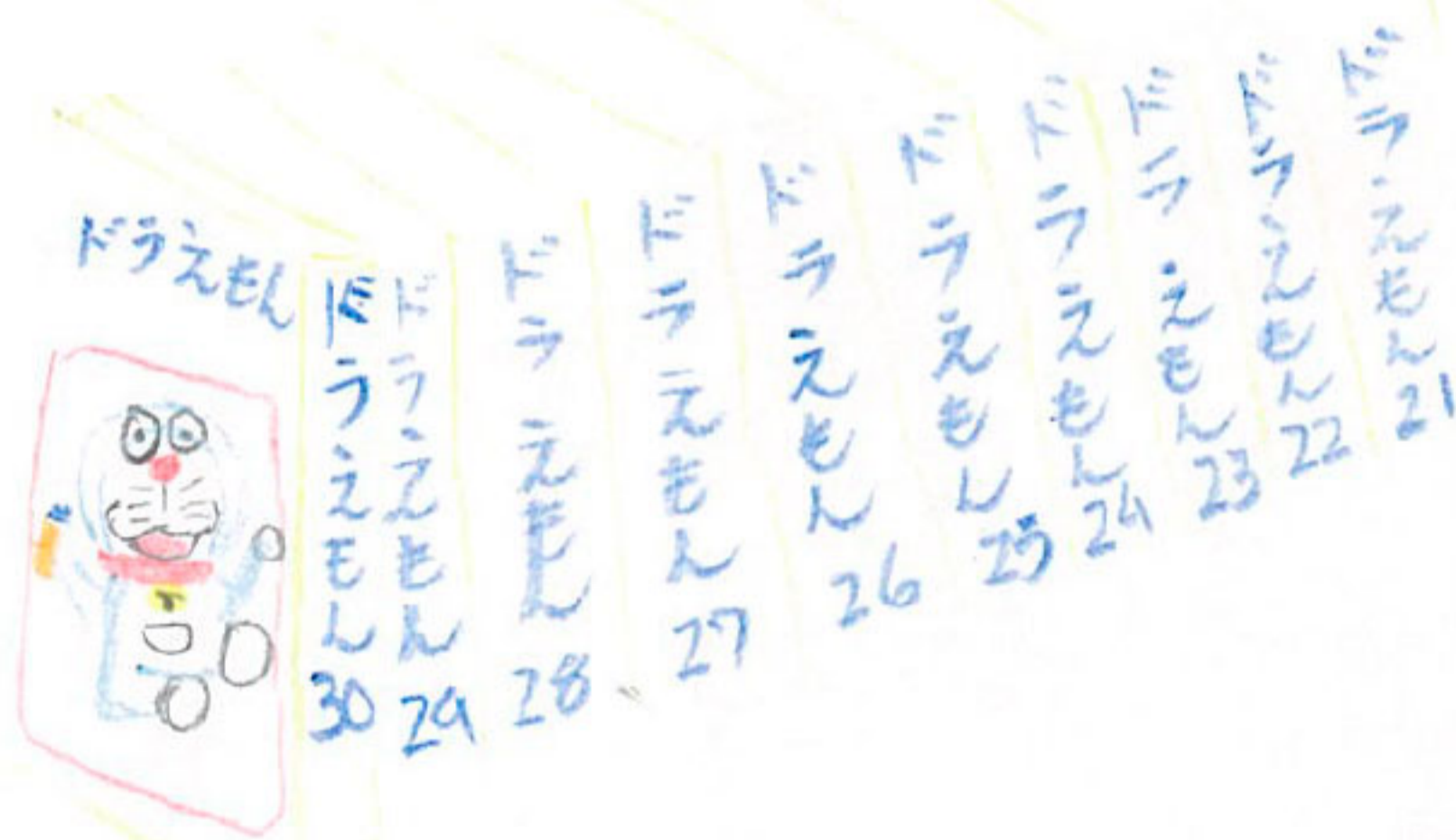
6年

神奈川大学 産学連携事業

「本の架け橋プロジェクト」のみなさまへ。
ぼくは日本語の「マ-ノカ」が大好きです。

母に「マ-ノカをもらおう」と言われるとすぐに
寝る前にたのみます。でも「マ-ノカ」の中で
コロコロとドラエモンが一番好きです。
テレビでもポケモンやドラゴンボールの
アニメも好きです。

本も読むの「楽しみ」です。!!⁷



6年

神奈川大学
産学連携事業

「本の架け木橋プロジェクト」のみなさん

はじめまして。

ぼくはパラグアイのラ・ソルナ日本語学校で
日本語を勉強している日系4世です

みなさんか送ってくれたドラえもん^{30巻}
も見てびっくりしました。とてもうれしかったです。

パラグアイでは日本語の本を買うの
はおずかしいからです。

早く全音読読みたいです。

本がありがたう ございませう。



6年

